

■コメント

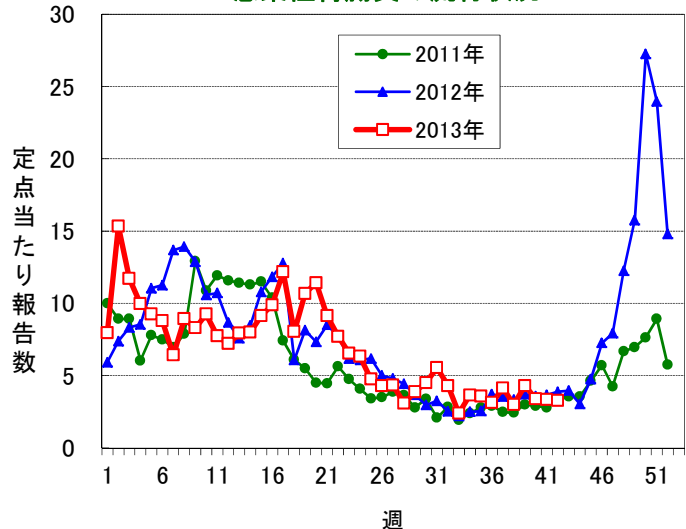
1. 感染性胃腸炎

定点当たり3.26人と、前週と同じレベルでした。
なお、今週は感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。

例年冬季はウイルス性の感染性胃腸炎が増加し、特に晩秋から年末ころにかけては、ノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が多くなります。ノロウイルスは感染力が強く、福祉施設・保育園・学校などの集団生活の場では集団発生を引き起こしやすいので、特に注意が必要です。

手洗いの励行、食品の十分な加熱など予防対策を徹底しましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	2.26		流行性耳下腺炎	5	0.22	0.55	
咽頭結膜熱	15	0.65	0.12		RSウイルス感染症	10	0.43	0.40	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.35	0.76		急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	75	3.26	3.41		流行性角結膜炎	7	0.88	0.25	
水痘	16	0.70	0.73		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
手足口病	7	0.30	0.52		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.12		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.31	
突発性発しん	9	0.39	0.47		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
百日咳	-	-	0.27		*感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.09	0.07						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

* 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は、感染症法施行規則の一部改正(2013年10月14日施行)により、五類感染症の基幹定点医療機関報告対象疾病に追加されました。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	162	男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	6	男性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レン サ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	R S ウィル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイルス)
報告数	広島市	第38週	-	15	9	69	26	27	1	5	-	17	5	16	-	14	-	2	-	-	-
		第39週	-	15	14	99	14	21	-	8	-	6	7	18	1	10	1	2	-	-	-
		第40週	-	16	20	78	31	19	-	13	-	13	6	16	-	8	-	2	1	-	-
		第41週	-	11	18	77	18	20	-	18	-	11	12	14	1	5	-	2	-	-	-
		第42週	-	15	8	75	16	7	-	9	-	2	5	10	-	7	-	2	2	-	-
定点 当たり	広島市	第38週	-	0.65	0.39	3.00	1.13	1.17	0.04	0.22	-	0.74	0.22	0.70	-	1.75	-	0.29	-	-	-
		第39週	-	0.65	0.61	4.30	0.61	0.91	-	0.35	-	0.26	0.30	0.78	0.13	1.25	0.14	0.29	-	-	-
		第40週	-	0.70	0.87	3.39	1.35	0.83	-	0.57	-	0.57	0.26	0.70	-	1.00	-	0.29	0.14	-	-
		第41週	-	0.48	0.78	3.35	0.78	0.87	-	0.78	-	0.48	0.52	0.61	0.13	0.63	-	0.29	-	-	-
		第42週	-	0.65	0.35	3.26	0.70	0.30	-	0.39	-	0.09	0.22	0.43	-	0.88	-	0.29	0.29	-	-
	全国	第40週	0.03	0.29	0.96	3.00	0.51	1.71	0.04	0.59	0.01	0.33	0.23	1.03	0.01	0.54	0.02	0.04	0.36	0.03	
		第41週	0.04	0.31	0.99	3.07	0.57	1.67	0.05	0.60	0.01	0.28	0.23	1.21	-	0.48	0.01	0.06	0.39	0.03	

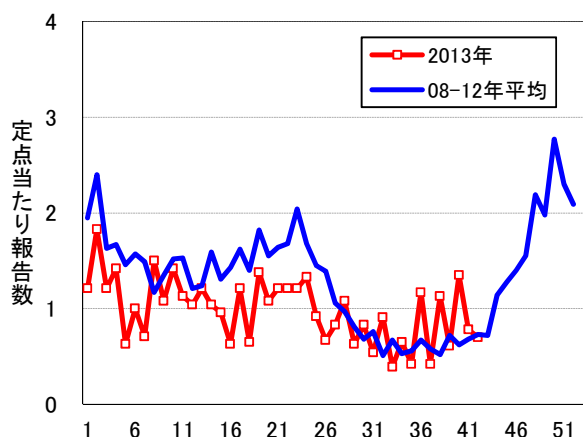
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(39.7) 紅斑 上気道炎	1	女	2013/08/22	糞便	ハレコウイルス1型
咽頭結膜熱	発熱(39.0) 上気道炎 気管支炎 肺炎	1	女	2013/09/11	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腸重積	0	女	2013/09/16	咽頭拭い液 糞便	ハレコウイルス1型
その他の発疹性疾患	発熱(38.0) 発疹 嘔吐 腹痛	2	男	2013/08/28	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA9型
その他の疾患	発熱	0	男	2013/09/12	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における水痘(水ぼうそう)の流行状況



水痘は水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる病気で、発熱と水疱が主な症状です。

潜伏期間は2週間程度で、子どもの場合、通常赤い発しんで始まり、その後水疱になり、最後にかさぶた状になって治っていきます。年間を通じて発生がみられますが、特に12月～1月、4～5月にかけて多く発生する傾向にあります。

一般的には軽症で、発熱も38度前後の熱が2～3日続く程度ですが、まれに合併症を起こすことがあります。

予防接種を受けることが効果的ですが、任意接種(有料)になります。接種を希望される方は、医療機関にご相談ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第42週(10月14日～10月20日)